民主市民連合

○佐藤敏男（さとう としお）　●小田島雅博（おだじま まさひろ）

今後の財政運営と将来の見通しは

持続可能で健全な行財政運営に努める

《つぶやき》
ブランド新米が出始めた。
価格競争はどうなるのかな？

おだじま　まさひろ
小田島 雅博 議員

Q 今後の財政運営と将来の見通しについては。

A 業務の見直しや効率化を図り、ボールパーク構想をはじめとした地方創生の推進に伴う財政面での好影響を最大限に活用し、引き続き持続可能で健全な行財政の運営に努めていく。

ボールパーク効果について

Q ボールパークの波及効果と具体的な取組は。

A まちづくりのさまざまな分野に波及効果を生み出している。財政面では平成29年度と令和5年度の比較で、個人市民税は約1億1,000万円の増、固定資産税及び都市計画税は約5億2,000万円の増、ふるさと納税は約3億円の増となり、今年度は市税収入を約90億6,000万円と見込むなど、人口減少や物価高騰のなか健全な財政運営につながっている。ボールパーク効果を市全体に波及・還元することが重要。新たに、子ども医療費助成や帯状疱疹ワクチンの公費拡大、小・中学校の冷房整備などに取り組む。

新たな産業の集積について

Q 本市としての見通しは。

A 工業団地の造成は、物価高や建設コスト上昇の状況から、建設には多額の費用がかかるため、慎重に判断することが重要である。それ以外の産業の集積は、Fビレッジを中心にスタートアップ企業へ支援するプログラムに本市も参画しており、期待している。

道の駅について

Q 検討状況と将来の展望は。

A 全国の情勢など情報収集を行っている。他の施設との差別化や運営方法など検討すべき課題も明らかになった。また、従来の休憩機能や情報発信機能に加え、地域連携機能や防災機能などその役割は進化していることから、引き続き本市にふさわしい道の駅の可能性について、検討していく。

市道排雪支援事業について

Q 自治会・町内会に対する補助基準額の見直しについての見解は。

A 物価上昇などを勘案し、見直しを検討する。

学期区分について

Q 3学期制の見直しと方向性については。

A 市内校長会と協働し、調査研究を進めてきたところ、3学期制は維持しつつ、「評価の2期制」について、来年度から導入する準備を進めている。各学校において、学校運営協議会や学校説明会、PTA総会など機会をとらえて「評価の2期制」について順次説明している。